

季刊



社会福祉法人  
名古屋市総合リハビリテーション事業団

# オレンジロード

ORANGE  
ROAD

2023年  
春号  
vol.36

事業団公式マスコットキャラクター  
りはみん



## INDEX

- ◆リハビリテーションセンターの支援の流れ(事例紹介)と利用窓口について
- ◆りはみんサロン報告(2022年11月、2023年2月)
- ◆なごや福祉用具プラザ事業報告
- ◆名古屋市障害者スポーツセンター事業報告
- ◆募集・事業所案内

発行：季刊オレンジロード編集委員会

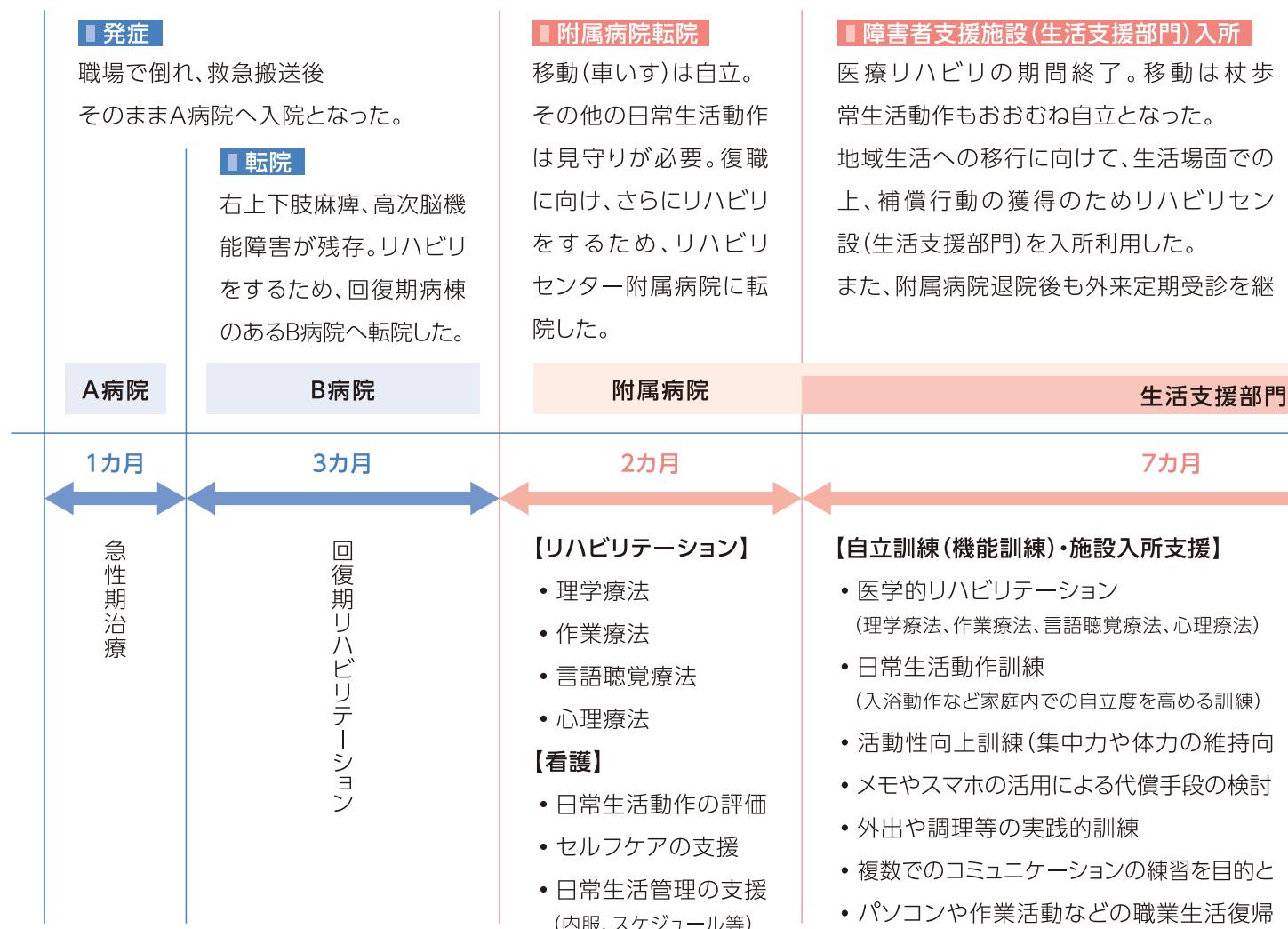


# リハビリテーションセンターの支援の流れ(事例紹介)

名古屋市総合リハビリテーションセンターでは、障害のある方が地域の中で自立した社会生活を実現していくことを目指し、社会復帰に向けた支援を行っています。

ここでは、脳出血を発症された方が当センターを利用された場合の、支援の一例をご紹介します。

## ■名古屋市総合リハビリテーションセンターにおける支援の例



ご利用に関するご相談は下記へお願いいたします。

ご利用相談受付窓口

FAX 052-838-9105

附属病院(入院・外来受診)

地域医療連携室

052-835-3473

生活支援部門

視覚支援部門

就労支援部門

相談課

052-835-4005

# と利用窓口について

Aさんの場合



年齢性別 40歳代、男性  
家族構成 妻・子と3人暮らし  
病名 脳出血

障害状況 右上下肢麻痺、高次脳機能障害  
(失語症、記憶力低下)  
本人の希望 現在休職中の会社に復職したい

## ■ 在宅復帰

### ■ 通所

自宅での生活が可能となり、公共交通機関での移動が自立したため、通所利用に切り替えた。

### ■ 障害者支援施設(就労支援部門)通所

復職に向けて、職業場面での課題整理や実践的な訓練、具体的な職務設定を行う復職支援を希望し、障害者支援施設(就労支援部門)を通所利用した。

## ■ 復職

会社と調整を行い、時短勤務で復職。データ入力・集計などのパソコン業務や郵便物仕分けなどの軽作業に従事している。

また、就労定着のための継続的なフォローを希望し、就労定着支援を利用している。

## 就労支援部門

1ヶ月

8ヶ月

復職した日から3年6ヶ月

### 【就労移行支援】

- ・ワークショップ(模擬職場)  
(データ入力、ファイリング、各種組み立て作業、  
製本・印刷など)
- ・グループワーク  
(ビジネスマナー、各種制度、面接対策講座など)
- ・就職・復職支援  
(ハローワークや就職面接同行、復職調整や面談同行、  
関係機関との連携など)

### 【就労定着支援】

- ・来所相談
- ・働く仲間の集い  
(茶話会、勉強会など)
- ・職場訪問

行自立、その他の日

課題整理や機能向  
ター障害者支援施

続した。

上のための訓練)

したグループワーク  
のための準備訓練

受付時間:午前8時45分～午後5時00分(土日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く)

## 高次脳機能障害に関するご相談窓口

## なごや高次脳機能障害支援センター

リハビリテーションセンター内

052-835-3814

リハビリテーションセン  
ターの詳細は事業団  
ウェブサイトをご覧くだ  
さい。

事業団  
ウェブサイト



<https://www.nagoya-rehab.or.jp>

# りはみんサロン報告

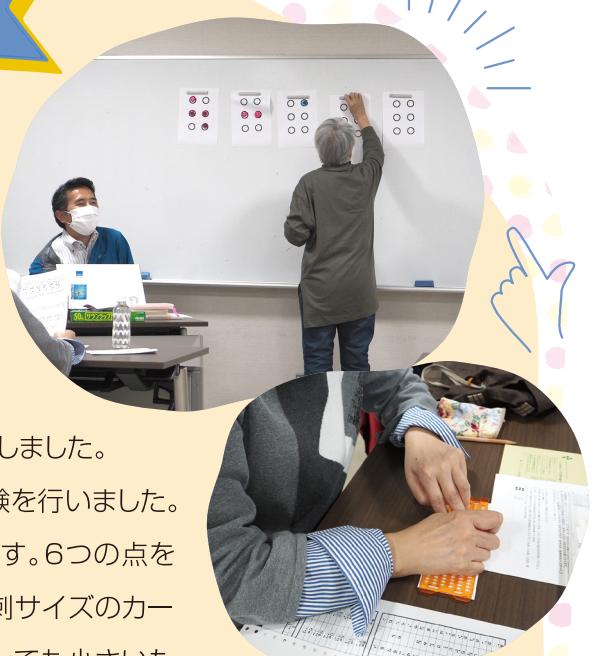
➤ 2022年11月

2022年11月1日(火)にリハビリセンターで「身近にある点字を知ろう」というテーマの講座を開催しました。11月1日は「点字の日(日本点字制定記念日)」です。

最初に、身近にある点字として、木工用接着剤などの商品パッケージに刻印されている点字を参加者に触ってもらいながら紹介しました。

次に点字の歴史やしくみについて説明し、最後に点字を書く体験を行いました。点字器に紙をセットして点筆という細い金具で点を打っていきます。6つの点をすべて打つ「め書き」をして点を打つ感覚に慣れてもらった後、名刺サイズのカードにご自分やご家族の名前を書いてもらいました。点字の文字はとても小さいため、参加者からは「どうすれば読めるようになるのか」などの質問がありました。

少人数での開催となりましたが、説明や体験を通してさまざまな質問や感想をいただき、視覚障害について知っていただくよい機会になったと思います。



➤ 2023年2月

2023年2月7日(火)に開催したりはみんサロンのテーマは「歩く～健康長寿は歩ける身体作りから!!～」で、理学療法科が担当しました。当日は満員御礼の14名の参加がありました。

前半の講義では「健康により影響を及ぼすウォーキングは、1日8,000歩、そのうち20分の中強度の運動を含むことが大切です」とお伝えしました。参加者の中には、「1日の歩数は意識していても、中強度の運動については知らない方も多く「家でその場足踏みを速くやれば同じ効果がある?」など多くの質問がありました。また、靴底チェックでは、参加者ごとに理学療法士が靴底の削れ具合などから分かる歩き方の傾向などをお話ししました。

後半は「ウォーキング姿勢のチェック&ワンポイントアドバイス」として、理学療法士が、一人一人の歩き方をその場で確認してアドバイスを行いました。皆さん歩くときは緊張の面持ちでしたが、非常に熱心にアドバイスを聞いてくださいました。終了後「このような企画があれば、また参加したい」といったうれしい言葉をいただき、企画者も安堵しています。

## なごや福祉用具プラザ事業報告

# 「おむつ選びの専門家」 の養成研修を行っています！



ちょっとしたこと  
尿がもれて外出が不安

おむつから尿(便)が  
もれないようにするには  
どうしたらいい?

自分や家族に合った  
おむつの選び方が  
分からない

こういったお悩みにこたえるのが「おむつ選びの専門家」です。

名古屋市では、高齢者排せつケア相談支援事業のひとつとして、名古屋市内の薬局、福祉用具貸与事業所などの大人用おむつを販売する店舗の従業員などを対象に「おむつ選びの専門家」の認定を令和4年度から開始しました。その専門家の養成研修をなごや福祉用具プラザが委託を受けて実施しています。

養成研修では、排せつのメカニズムやいろいろなおむつの特徴を知る講義の他、おむつのあて方・吸水実験、高齢者疑似体験や福祉用具体験を行い、おむつを選ぶための実践的な力を身に付けられる内容となっています。

2日間受講し最終日に行われる確認テストに合格した方には、名古屋市の認定証が交付され、広報啓発用のぼり旗やポスターなどが渡されます。

令和5年2月現在68名の「おむつ選びの専門家」が誕生しており、在籍する店舗などは、名古屋市公式ウェブサイトや『おむつ選びの専門家マップ』で公表されています。

これらの店舗数がさらに増え、相談場所がより身近に存在することで、  
排せつに悩むご本人やご家族の日々の安心につながることを  
願っています。



## 名古屋市障害者スポーツセンター事業報告

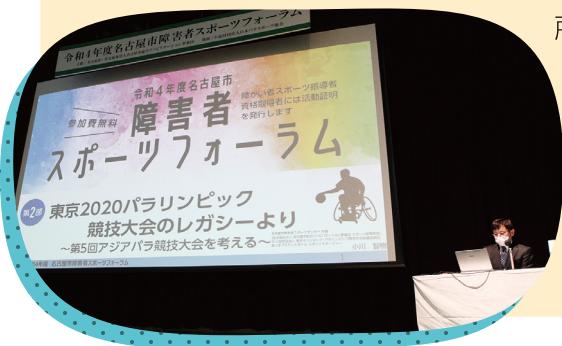
## 障害者スポーツフォーラムを開催しました

2022年12月3日(土)に、福祉スポーツセンターハレで「障害者スポーツフォーラム」を開催しました。このフォーラムは、2026年アジアパラ競技大会に向けて、ボランティアとして大会運営に協力することの意義や興味関心を深めることを目的に、公益財団法人日本パラスポーツ協会の後援を受けて開催したものです。

フォーラムでは、名古屋市総務局総合調整部主幹(アジア・アジアパラ競技大会に係る企画調整)の窓氏から、アジアパラ競技大会の歴史や他国での開催状況、愛知・名古屋2026大会の概要、準備状況などをお話しいただきました。また名古屋市障害者スポーツセンターの小川

所長からは、東京2020大会でのスポーツマネージャーの経験から、準備や仕組みづくりなど具体的な課題について話がありました。

当日参加していただいた名古屋市障がい者スポーツ指導者協議会の登録指導員や学生などからは、たくさんの質問や意見をいただき、皆さんの関心の高さを感じました。



## スポセンわくわくフェスティバル2022を開催しました

2022年12月4日(日)に、障害者スポーツセンターで「スポセンわくわくフェスティバル2022」を開催しました。新型コロナウイルス感染症感染拡大のため3年ぶりの開催ですが、今年もまだ安心できない状況のため、飲食なしでの開催となりました。

例年の飲食(出店や餅つき)に代わるものとして、障害者スポーツ体験やスーパー 볼(スーパーボール)すくい、的当てなどを企画しました。その他、地域の関係機関の協力でさまざまな企画を行



い、来場者に楽しんでいただけたと思います。

飲食を伴わないお祭りは初めての試みでしたし、まだ新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束していない中、来場者が集まるか不安でしたが、当日は約1,500名にご来場いただきました。このお祭りを通じて、地域の皆さんに今までよりさらに当センターのことを知っていただけたと感じています。



## ブラインドサッカー体験会を開催しました

2023年1月29日(日)に、稻永スポーツセンターで、ブラインドサッカー体験会を開催しました。この体験会は、障害者スポーツの理解促進・普及啓発のために、名古屋市にあるトッププロチームの協力を得て開催したものです。

当日は、小学生から大人まで幅広い年齢層の44名の参加があり、日本フットサルリーグに所属する「名古屋オーシャンズ」とブラインドサッカーチーム「Mix Sense 名古屋」で活動している選手と一緒に、アイマスクを着用してドリブルやシュート練習、PK対決を行いました。



この体験会では、ブラインドサッカーの楽しさや難しさを感じながら、選手の皆さんと交流することもでき、イベントは大いに盛り上りました。

体験会参加者には日本フットサルリーグ観戦チケットがプレゼントされ、名古屋オーシャンズ対ペスカドーラ町田の試合観戦をすることもでき、とても良い一日になったと思います。

## パラスポーツフェスティバル2022を開催しました



2023年2月4日(土)、5日(日)に、イオンモールナゴヤドーム前1階イベントスペースで「パラスポーツフェスティバル2022」を開催しました。障害者スポーツについて、多くの方に知っていただくため、たくさんの人が集まるショッピングモールを会場とし、ボッチャやVRレーサー、ブラインドサッカー、競技用義足、車いすバスケットボールなどの体験や2026年に愛知・名古屋で開催される「アジアパラ競技大会」のPR、パラスポーツに関するクイズラリーを実施しました。

イベントには2日間で約2,000名の参加がありました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、競技紹介パネルや器具の展示のみでしたが、今年度は実際に障害者スポーツを体験していただけたことで、障害者スポーツへの興味や関心をより高めることができたと思います。



私たちと一緒に  
働きませんか

# 事業団職員 大募集



随時  
募集中  
です!

職場見学  
大歓迎



現在募集中

正規職員

事務・社会福祉職、言語聴覚士、作業療法士

嘱託職員

栄養士、調理補助

## お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団  
総務部総務課 採用担当  
〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇等の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

正規職員募集  
についてはこちら

嘱託職員募集  
についてはこちら



## 事業団ウェブサイト

<https://www.nagoya-rehab.or.jp>  
事業団公式HP▶



## 事業団公式Twitter

名古屋市総合リハビリテーション事業団@公式  
→ @nagoya\_rehab

## 事業所案内

- ・名古屋市総合リハビリテーションセンター
- ・福祉スポーツセンター
- ・障害者就労支援センター めいりは
- ・なごや高次脳機能障害支援センター

〒467-8622  
名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2  
電話: 052-835-3811 FAX: 052-835-3745

**名古屋市障害者スポーツセンター**  
〒465-0055  
名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地  
電話: 052-703-6633 FAX: 052-704-8370

## なごや福祉用具プラザ

〒466-0015  
名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1  
御器所ステーションビル3F  
電話: 052-851-0051 FAX: 052-851-0056

- ・瑞穂区障害者基幹相談支援センター
- ・地域活動支援センター つきみがおか

〒467-0035 名古屋市瑞穂区弥富町月見ヶ岡5  
NTT西日本八事ビル1階  
電話: 052-835-3848 FAX: 052-835-3743